

見直し方針

開催時期は、令和4年4月下旬から12月までとする。

令和3年度は、持続可能な地域づくりにつなげる「仕組み・体制づくり」をプロローグ的に実施する。

令和4年度は、集客イベント等の本格的実施など、アフターコロナを見据えたロングランイベントへ再構築する。

ワクチン接種 → 社会経済活動が徐々に再開

本格的な反転攻勢・誘客拡大

令和3年度 体制等整備フェーズ

令和4年度 プロモーションフェーズ

令和5年度

- ・コロナ禍の現状でも計画的に実施可能なもの
- ・早期の事業着手が必要なもの

- ・集客要素の強いもの
- ・相当規模の人の移動を伴うもの

※実施可能なプログラムを展開。
体制・仕組みの早期構築により事業者の自走環境を整備

※事業者のビジネスベースの自走に向け、
きずな博広報プロモーション等による伴走型支援を展開

おもてなし事業【体制づくり】

受入体制の構築による実需創出

広域周遊 宿泊推進 資源活用

R 3 実施事業

R 4 延期事業

つながり事業【仕組みづくり】

地域課題解決を通じた新しい絆づくり

ヒトのつながり モノのつながり 協賛応援

R 3 実施事業

R 4 延期事業

広報プロモーションの強化

R 3 実施事業の伴走型支援

R 4 延期事業実施（体制構築）

地域の元気応援事業【イベント】

復興応援と支援への感謝

オープニング
シンボル（西予市）
シンボル（大洲市）
シンボル（宇和島市）
クロージング

連携イベント（市町ほか）

R 3 実施事業の伴走型支援

R 4 延期事業実施（仕組み構築）

事業者の自走
（構築した受入体制・仕組みの活用）

持続可能な「いやし」の南予の確立